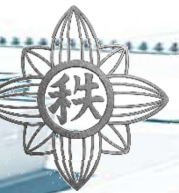


チックシベツ

校訓 至誠力行



教育目標

【知】自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える子ども

【徳】心豊かに、他者と協力して生きる子ども

【体】進んで体を鍛え、たくましく成長する子ども

【地域】ふるさとに学び、未来へ夢をつなぐ子ども

秩父別学園だより 第3号（令和8年6月5日）【発行責任者 湊 秀樹】

「進取果敢」をテーマに運動会を開催

晴れ渡った空の下、秩父別学園の記念すべき第一回運動会を開催することができました。悪天候のため順延をさせていただきましたが、多くの保護者・地域の皆様にお集まりいただき、厚く感謝申し上げます。

運動会のテーマは「進取果敢」でした。変化を恐れず、新しいことに積極的に挑戦するという意味をもつ言葉で、まさに本校の建学精神を表したテーマであり、第一回の運動会のテーマとしてぴったりなものを子供たちは選んでくれたと思います。

運動会の様々な場面で、感動したり感心したり、改善の余地を感じたりする場面はありましたが、徒競走では誰一人として力を抜くことなく、ゴールまで全力で走り切っていたことに感動しました。実は、タイム計測をしないので、後期課程の生徒はモチベーションを高めるのが難しいと言われていました。また、前期課程の「南中ソーラン」では、児童生徒席で声援だけでなく、自らも踊りながら応援する後期課程の子供たちの姿に、義務教育学校らしい校種の枠を超えたつながりを感じることができました。

一方、初めての開催でしたので、フィールド種目の場所（芝の部分にしばられる）や、応援合戦時の前期課程の児童の観覧場所（各連合の口上がほぼ聞こえない）などは検討の余地はあるかなと思いました。また、小・中それぞれにあった応援歌をどこかに取り入れられないかなとも思いました。

今回のテーマにもあったように、変化することに臆することなく、より子どもたちが達成感や成就感を味わうことのできる運動会にしていきたいと考えております。

一学期も後半となりました。今後は、後期課程の定期テスト・中体連、前期課程の修学旅行、見学学習などの行事が控えています。引き続き、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。



9年生の修学旅行が無事終了！

5月18～20日の後期課程修学旅行では、コロナ禍後の令和5年度から再開した東京・神奈川方面を訪れ、鎌倉を中心に二班で自主研修を行いました。天候にも恵まれ、長谷寺のアジサイや高德院の大仏など、北海道では触れられない歴史や街並みに多くの学びを得ました。宿泊先のホテルでは、朝食のテーブルに温かなメッセージが添えられるなど心に残る場面もありました。学校生活でも特に思い出深い修学旅行。8名の9年生は、最高の笑顔で帰校しました。



嫌な思い調査（アンケート）について

5月上旬に標記のアンケートを実施いたしました。その結果、秩父別学園開校の4月から本日（調査日）までの間に「嫌な思いをしたことがある」と回答した児童・生徒は全校の4.6%であり、そのうち「現在も嫌な思いをしている」と回答した生徒は3%でした。これらの結果を受け、5月18日（月）からの教育相談の時間等を活用し、個別面談や集団への指導を行いながら、子どもたち一人ひとりの状況に応じた支援に努めております。

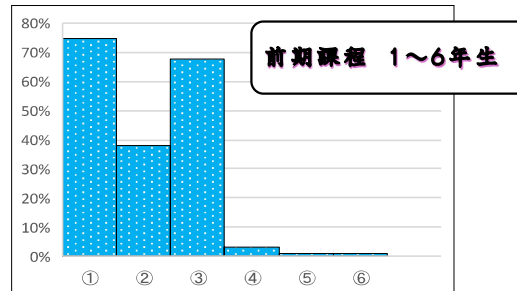
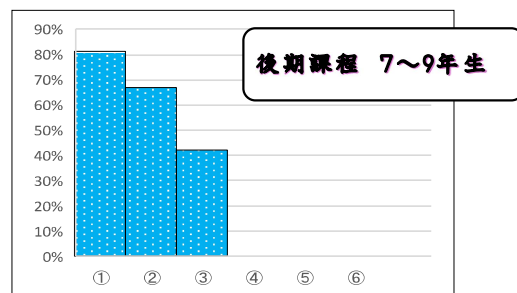
今後も、些細なことでも教職員間で情報を共有し、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、丁寧に見守り支援してまいります。ご家庭におかれましても、お子さまのご様子で気になる点などがございましたら、どうぞ遠慮なく学校までお知らせください。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆相談相手はだれ？◆

【質問項目：嫌な思いをした時、誰に相談しますか？】

相談相手としては、「家族」「友人」「学校の先生」の割合が高い結果となりました。一方で、「嫌な経験がないため相談したことがない」「いじめがないので相談の必要性を感じない」といった理由から、「相談することがない」と回答した児童・生徒も見られました。

本校では、困ったときに一人で悩まず相談する姿勢を育てるため、各学年で継続して指導を行っています。今後も教育相談等を活用し、学校生活や自身に関する悩みを安心して話せる体制づくりに努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



- ① 家族
- ② 友人
- ③ 学校の先生
- ④ スクールカウンセラー
- ⑤ 電話相談
- ⑥ SNSなどの相談窓口